

YMCA健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

What's New!

- ・ 専門学校体育大会
試合結果報告
- ・ 夏の体験イベントが
行われました

戦争を知らない子どもたちと平和宣言

広島市が世界最初の原子爆弾の惨禍を経験し、2年目の昭和22年(1947年)に、永遠の平和を確立しようという広島市民の願いを全世界の人々に伝え、世界的行事の一つにまで発展させたいと願って、平和祭が行われることになりました。現在の平和記念公園の広場で式典が開かれ、この中で平和宣言が浜井信三市長によって初めて読み上げられました。今年で60回目になります。



平和祈念式典より

「悪魔に魅入られ核兵器の奴隷と化した国の数はいや増し、人類は今、すべての国が奴隷となるか、すべての国が自由となるかの岐路に立たされています。その中でも特に罪のない子どもたちが、核兵器の攻撃目標であり続けて良いのか」と始まる秋葉忠利広島市長の今年8月6日の平和宣言。「人間はいったい何をしているのか」と始まる伊藤一長長崎市長の8月9日の平和宣言。今年もともに被爆から61年目を迎えた市民の怒りといらだちの様子を切々と世界に向けて訴え続けています。

10年前、国際司法裁判所は、「核兵器の使用・威嚇は一般的に国際法に反する」との判断を下した上で、「すべての国家には、すべての局面において核軍縮につながる交渉を、誠実にやり完了させる義務がある」と述べているにも関わらず、核保有国をはじめ、多くの国々、そして市民もこの義務を真正面からは受け止めることもなく、結果として世界の平和と安全を脅かしていることにつながっていないという怒りといらだち。

「岩をも通す固い意志と燃えるような情熱を持って私たちが目覚めた時が来たのです。」と今年の宣言文にあるように世界に核兵器からの自由をもたらす責任は、私たち市民ひとり一人にあります。

さらに、被爆国である私たち日本は、再び悲惨な戦争が起こることのないように、歴史の反省の上にならって、世界に誇る「平和憲法」を守りながら、戦争を知らない子どもたちとともに、その現実を自ら学び、そして伝えていくことの大切さを忘れないようにしたいですね。

YMCA健康福祉専門学校

校長 小林 一郎

インドネシアジャワ島中部地震のための街頭募金



5月にインドネシア・ジャワ島中部で大きな地震(M6.3)があったことは記憶に新しいと思います。4600人近い人が亡くなり、全体の8割が崩壊してしまった集落もあります。その後、人々の生活も安定しない中、7月19日にもM6.2の地震があり、地震と津波のために530人を越える人が亡くなりました。

YMCA健康福祉専門学校では、介護福祉科の1年生と健康福祉科の2年生が中心となり、7月28日、29日の両日、小田急線本厚木駅前「インドネシア・ジャワ島中部地震のため」の街頭募金活動を行いました。始めはなかなか声が出なかったり、恥ずかしがってしまったりという様子もありましたが、みな一生懸命に呼びかけてくれました。

お預かりした募金は日本YMCA同盟を通じてインドネシアYMCAへ送ります。





ボランティアメンバーの皆さんお疲れさまでした。

福祉フォーラムのボランティア

障がい者やその家族の方に本物の音楽を楽しんでもらうことを目的とした「福祉フォーラム06'～バリアフリーコンサート～」が、8月3日(木)に厚木市文化会館で行われました。本校からは健康福祉科から2名、介護福祉科から5名の学生がボランティアに行き、主に駐車場やコンサート会場内での誘導をお手伝いさせていただきました。会場には知的障がいのあるかた、車いすの方、視覚障がいのため盲導犬を伴って来場している方や聴覚障がいの方などたくさんの方が音楽を

楽しんでいました。参加した学生は「会場ボランティアは初めてでしたが、施設での介助ボラとは違った発見がありました。施設で働く身になってから、きっと役に立つと思います。」との声が聞かれました。会場にはYMCAの卒業生も施設職員として来場しており、ボランティアの学生に励ましたり、声をかけてくれました。



専門学校からの掲示も出しました

夏！夏！夏！
YMCAは
夏休みも充実！

県の条例を作る！企画委員会に参画しています

「少子化」の言葉に代表されるように、神奈川県でも子どもの数が減っています。この少子化に歯止めをかけ、子どもを生きやすい、育てやすい街にしようと、県では新しい条例を作成しようとしています。その中で、若い人たちが子ども・子育てについて感じている問題点や課題等を自分たちの視点からとらえ、それを条例に反映させようと「企画実行委員会」を立ち上げました。この企画実行委員会は県内の大学等から推薦された学生で構成されていて、YMCA健康福祉専門学校からも健康福祉科1年の山家愛さん、望月梨沙さん、吉村和則さんの3名が参画しています。仕事、子育て、自分の生活の両立といった問題に近い将来向き合う、そして少し

前まで「子ども」であった世代(18～22才)は、どんな環境、どんな社会だったら「子どもを持つ」、「子育てしながら働こう」と思うのでしょうか。実際にその世代の人たちの意見を聞くために、実行委員会ではアンケート調査票の項目作り、実施、集計を行います。県からは「若者の意見を取り入れながら、条例をより良いものとして制定していきたい、感性を大切にしたい意見を」と期待されています。調査結果は10月28日に厚木市総合福祉会館で行われる「条例制定に向けたシンポジウム」にて発表です！



真剣で活発な意見交換!?がなされました

夏のリーダーは大忙し！

前期試験が終わると、夏休み！前号でお伝えしたように、学生のみなさんは様々な福祉施設での実習期間へ入ります。その合間を縫って(!)リーダー活動に励む学生も大勢います。夏休みに厚木YMCAでは、特別プログラムとして体操や水泳、キャンプやデイキャンプなどを行います。こういった活動の中で多く活躍しているのが福祉スポーツ科の学生たちです。福祉スポーツ科には「スポーツが好き」「子どもと関わる仕事につきたい」「障がいのある人を支えたい」という学生が多く在籍し、授業時間だけでなく自分のあいている時間もYMCAに集う子どもたちと

一緒に過ごしています。実際に子どもたちとかかわる機会を多く持つこと、さらにはその保護者の方との信頼関係作りなどを通して、教科書だけでは学ぶことのできない貴重な経験をつんでいきます。グループリーダーとしての資質を磨き、自分の将来へ活かしていく学生もたくさんいます。YMCAではこのような「リーダー活動」ももうひとつのカリキュラムとしてとらえ、幅広い人間関係作り、コミュニケーション能力の向上を応援しています。



息を合わせて模範演技!?トランポリンのシンクロ！

専門学校体育大会に出場しています

YMCA健康福祉専門学校にはたくさんの部活があります。練習時間が十分にとれる部ばかりではありませんが、みなそれぞれ時間を作ってがんばって活動しています。

毎年夏には、「神奈川県専門学校体育大会」が開催され、YMCA健康福祉専門学校からもたくさんの学生たちが出場しています。



バスケットボール 男子準優勝、女子4位

【男子】		【女子】	
1回戦	114-27 情報科学	2回戦	55-50 YMCAスポーツ
2回戦	81-43 東京IT会計法律	準決勝	×26-47 横浜リゾスポ
準決勝	59-42 横浜高等教育	3位決定	×38- 聖ヶ丘教育福祉
決勝	×69-80 横浜リハビリB		

昨年に続き男子は決勝で敗れてしまいました。実力のあるチームなので残念です。女子は実習等でメンバーが揃わないながらも頑張りました。両チームともおめでとう！



健康福祉科3年広川裕樹君が優秀選手に選ばれました



ナイスリバウンド！



卓球 個人優勝、団体準優勝

【個人】		【団体】	
優勝	海老塚真人 (福祉スポーツ科2年)	準優勝	(リーグ成績1勝1敗)

個人、団体とも昨年に続き、秋に行われる全国大会への出場が決まりました。少数精鋭のチームです。全国での活躍も間違いなし！



団体準優勝メンバー(全員ですが…)



個人優勝・海老塚君の華麗なショット！



サッカー 予選リーグ快勝！決勝トーナメントへ

【予選リーグ】

10-0	総合電子
5-0	情報科学B

2勝で予選リーグ突破、決勝トーナメント(ベスト8)進出が決まっています。予選あと1試合もチームワークで勝利し、1つでも多く、勝ち進めるよう応援していきます！



初戦勝利後に喜びの撮影



暑さとも戦わなくては…走れ～！



軟式野球 初戦惨敗、来年に期待！

1回戦 ×3-13 (5回コールド) 日産横浜整備

経験者を中心に頑張りましたが、残念ながらコールド負けをしてしまいました。メンバーの半数は1年生。来年に期待しましょう！



走者一塁、打つか!?送るか!?



好投むなく…

バレーボール女子



今年、再結成された女子バレー部が出場します。夏休み期間に入っても一生懸命練習していた成果を出せるよう頑張ります！

ボウリング



学校の部活動ではありませんが、希望者が参加できるのがボウリングです。団体戦・個人戦で競います。

(8月20日現在)

「夏のイベント」が行われました

YMCA健康福祉専門学校では、この夏も恒例の「夏のイベント」を行いました。

今年は、見学会(高齢者施設、障害者施設、保育施設)と体験授業(介護・保育・スポーツ)に、たくさんの方が参加してくださいました。ありがとうございました。

9月16日(土)には受験事前準備会もあります(10:00~12:00要予約)。ぜひ、ご参加ください!



参加したみなさんの感想

手洗は自分で洗うのと人に洗ってもらうのはまったく違って、少し恥ずかしい気持ちになりました。きっと利用者の方もそうなんだろうなあ、でも慣れてきたらすごくうれしいだろうなあと考えながらやりました。(介護・体験授業)



実際にYMCAの卒業生が働いている現場を見ることができたので、この学校で学んだことを活かしている卒業生の姿はとても印象に残りました。(保育施設・見学会)



初めてニュースポーツ(誰もが楽しめるスポーツ)を体験しました。ケアワーカーを目指していますが、自分自身がずっとスポーツをしてきたので、「自分を活かす道が見つかった」と思いました。(スポーツ・体験授業)

オムツをすることが高齢者にとってどれだけ辛く、悔しいことなのかを現場で働くプロの方に聞き、「利用者の方たちにとって足りないことを満たす」ことの大切さを学びました。(高齢者施設・見学会)



在校生アドバイザーがお手伝いしています



YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科
健康福祉科
介護福祉科

〒243-0018

厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp

HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ!

横浜でお会いしましょう~会場ガイダンス~
9月5日(火)15:00~18:00
9月13日(水)14:30~18:30
於:横浜新都市ホール

Realize your dream!

~地域福祉をささえるのはあなたです!~

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。